

はら だ がわ  
原田川

所在地・・・静岡県静岡市葵区足久保口組字原田

延長・・・500m

実施主体・・・静岡市建設局土木部河川課

問合せ先・・・【住所】静岡市葵区追手町5番1号  
【TEL】054-221-1087

原田川

## 整備の概要

整備実施期間・・・平成7年～平成10年度(1995年～1998年度)

## ①「多自然型護岸の整備」に向けた整備手法

## Step1:原田川環境調査の実施

既存資料の調査、収集及び整理をし、原田川環境調査検討委員会を立ち上げ、原田川の生物相、自然環境保全の課題・復元についての把握した。

## Step2:多自然型整備方針の計画

既存木を残しつつ、淵、平瀬、早瀬を造り滞りをコントロールして、生物の生息環境を確保しつつ、**危急種のミクリ**は仮調整池に移植し、改修後戻すこととした。生物の速やかな復元を促す為に**現表土を流用して、自然の潜在力・復元力に頼った。**

## Step3:多自然型整備の実施

多自然型整備として、**巨石張り工(空張り)\*1**、**巨石根固め工\*2**により、水中生物の棲処、植生の復元を図った。また、**木工沈床工\*3**により、多孔性をもたせ水生生物の生息場所を確保した。

## Step4:自然生態保護区の設定

生物の多様な生息・生育の場を確保するため、**管理道や堤防から水辺に入りにくい構造を創り、自然生態の保護を目的とした区域を設定した。**

## ② 整備時の協働者との関わり →学識経験者

学識経験者を委員とした原田川環境調査検討委員会を立ち上げ、原田川の環境保全の調査検討を実施した。

## ③ 整備時の留意点

\***危急種であるミクリを保全するために、学識経験者の協力を得てミクリを移植**することで対応した。



多自然型整備(巨石張り工)



多自然型整備(木工沈床工)



ミクリ(危急種)

## 事業効果

●整備後のフォローアップ調査等は実施していないため、詳細な効果は把握していないが、生物や植物、**危急種のミクリの生息を確認**できている。

対象地の概要・・・本河川では、**多自然型護岸工**を用いて、**植生・生物環境に配慮した整備**をしている。河岸では、**小段を創出し植物の生息できる空間を形成**しており、また、河川内には、**巨石などを用いて瀬・淵を創出し、生物の住処を創出**している。

## 事業への取組みのきっかけ

本河川は、もともと河川断面が狭小で、度々周囲の農地や住宅地へ浸水被害を引き起こしてきた河川である。また、地域周辺では住宅団地の造成や高速道路の建設等の社会環境の変化が急激に進行していたこともあり、河川整備計画を策定し、整備を実施した。本河川には**ミクリ等の貴重な水生植物の分布が確認**されていたこともあり、**生態系の保全、水質の保全、水と緑の景観、河川空間の親水性等を整備方針**としている。

## 維持管理の概要

## ④「多自然型護岸の整備」に向けた維持管理内容

年間を通して**定期的な除草**を実施している。また、**年2回職員による河川パトロール**を実施して河川状況の把握に努めている。

## ⑤ 維持管理時の協働者との関わり

-

## ⑥ 維持管理時の留意点

\***出水期前に除草を実施**することが望ましい。



整備前



整備後



河川の除草の様子

## 備考

## 用語説明

- ※1**巨石張り**・・・護岸としての洗掘防止効果の他、空隙を多く作り出し、隙間の空間に昆虫類の生息を可能にし、また植物の定着を促す。
- ※2**巨石根固め**・・・生態系に配慮し複数の巨石をプレートで一体化させる
- ※3**木工沈床**・・・木工沈床は水の流速を遅くする効果があり、遡上する魚類が河川を遡上しやすくする。

## 現在の課題

維持管理として、定期的な除草、パトロールは実施しているが、生態系に関しては、目視のみでフォローアップ等は実施しておらず、詳細な効果は把握できていない。